学校番号	403

令和５年度　芸術（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ　改訂版（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」この４つの分野を年間通して学習します。
■学習の到達度は、１人ずつの実技テストやグループ発表会、ワークシートなどで評価します。
■芸術音楽は技術や理論を学ぶだけでなく、楽器を演奏したり、聴くことで音楽を全身で感じ取り喜怒哀楽などの心の感性を磨く手段です。
■新しい創造や感性が試される現代社会において、将来音楽という分野が生きていく力の支えとなることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて考えながら取り組めている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付け、創造的に表現できている。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈し、また評価を考えその作品の音楽を理解し、良さや美しさを創造的に感じながら聴いている。
評価方法	観察 発表 ワークシート	観察 実技テスト グループ発表	観察 実技テスト グループ発表	観察 発表 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	出会いのうた	【歌唱】 翼をください 群青	○	○	○		a:喜びを感じ主体的に取り組んでいる。 b:音楽要素を知覚し作品の特質を感受しどのように歌うか考えている。 c：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト ワークシート
	合わせる	【器楽】【創作】 Cups	○	○	○		a:みんなと協力しながら主体的に練習に取り組んでいる。 b:リズム・速度・旋律・強弱の知覚。 c:技能を身に付け創造的表現ができる。	観察 発表
	日本の音楽に	【器楽】 八木節音頭	○			○	a:歴史的背景との関わりに関心を持ち主体的に取り組んでいる。 d:作品の良さ美しさを感じとり、自分の演奏へと結びつけることができる。	観察 発表
2学期	表現のうた	【歌唱】 海の声 風になりたい 荒野のはてに 小さな恋のうた	○	○	○		a:曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲との関わりに関心を持ち主体的に取り組んでいる。 b:リズム・速度・旋律・強弱の知覚。 c:イメージを持って音楽表現するための発声など技能を身に付けている。	観察 実技テスト
	アンサンブル	【合奏】自由曲 グループ発表会に向けて	○		○		a:みんなと協力しながら主体的に練習に取り組んでいる。 c:　楽器の知識を理解し運指や演奏法の技能を身に付け創造的に表現できる。	観察 実技テスト
	参考にする力	【鑑賞】 ミュージカル 「キャッツ」 ラプソディー	○			○	a:ミュージカルに関心を持ち、映像と音楽の関わり方について理解し主体的に取り組んでいる。 d:音楽要素を知覚し、作品の良さや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	観察 ワークシート
3学期	楽しむ	【合奏】自由曲 グループ発表会	○		○		a:みんなと協力しながら主体的に練習に取り組んでいる。 c:技能を身に付け創造的表現ができる	観察 ワークシート 発表
	楽しむ	【創作】 自分のお気に入りのアーティスト紹介	○			○	a:自分がリスペクトする音楽家を更に探求し自分との関わりについて考え主体的に取り組んでいる。 d:音楽要素や作品、また人物についての良さや美しさを感じ取り、１分間にまとめ言葉でその作品や人物について伝えることができる。	観察 ワークシート 発表

※表中の観点について　a:　音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫　c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力
※全ての観点について評価するが、学習内容で特に重点的に評価する観点について○を付けている